

## 1-2 住民アンケート調査結果の概要

### (1) 調査結果の総括

松島町の全世帯を対象としたアンケート調査結果の総括を以下に整理する。

#### 1) 回答者の属性

- ・今回の回答者は、「**長い間、松島に一戸建ての持ち家で住んでいる高齢者の方**」が多かった。

#### 2) 松島町への愛着度

- ・松島町への愛着度については、「愛着を感じている」、「どちらかといえば愛着を感じている」の合計値が約7割で、「**愛着を感じている人**」が多かった。
- ・愛着度のクロス集計結果からは、「**高齢者**」、「**第一次産業従事者**」、「**居住年数の長い人**」、「**北部地域の人**」、「**一戸建てに住んでいる人**」、「**親と同居している人**」ほど、愛着が高い傾向が見られた。

#### 3) 定住意向

##### (a) 住みやすさの評価

- ・住みやすさの評価については、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計値が約5割で、「**住みやすいと感じている人**」が多かった。
- ・住みやすさのクロス集計結果からは、「**高齢者**」、「**第一次産業従事者**」、「**町内に通勤・通学している人**」、「**居住年数の長い人**」、「**北部地域の人**」、「**一戸建てに住んでいる人**」、「**親と同居している人**」ほど、住みやすいと感じている人が多い傾向が見られた。

##### (b) 15年前との住みやすさの比較評価

- ・15年前との住みやすさの比較については、「**どちらともいえない**」とした人が約4割で最も多く、「住みやすくなった」と感じている人と「住みにくくなった」と感じている人は同程度となった。
- ・15年前との住みやすさの比較のクロス集計結果からは、「**高齢者**」、「**自営業、専業主婦(夫)、公務員**」、「**北部地域の人**」、「**民間の借家(一戸建て)**」、「**親と同居している人**」ほど、住みやすくなったと感じている人が多い傾向が見られた。

##### (c) 今後の居留意向の評価

- ・今後の居留意向は、「**住み続けたい**」、「**どちらかといえば住み続けたい**」の合計値が約7割で、「住み続けたいと感じている人」が多かった。
- ・今後の居留意向のクロス集計結果からは、(a)住みやすさの評価と同様の傾向であり、「**高齢者**」、「**第一次産業従事者**」、「**町内に通勤・通学している人**」、「**居住年数の長い人**」、「**北部地域の人**」、「**一戸建てに住んでいる人**」、「**親と同居している人**」、「**民間の借家(一戸建て)**」、「**親と同居している人**」ほど、住み続けたいと感じている人が多い傾向が見られた。

#### 4) 望ましい10年後の将来像

- ・松島町の望ましい将来像については、以下の意見が多い結果となった。

⇒「健康・福祉のまち」

⇒「安心・安全なまち」

⇒「子育て・教育のまち」

- ・将来像のクロス集計結果からは、**子育ての現役世代は「子育て・教育のまち」、農林業・漁業(漁師・養殖業)の就業者は「農林漁業のまち」とする意見も多い傾向が見られた。**

#### 5) 町の取り組みに関する満足度と重要度の評価

- ・現行計画における各分野別の取り組み(52項目)に関する「現状の満足度」・「今後の重要度」の評価結果から、「満足度」が低く「重要度」が高いと評価された「優先性」の高い取り組みとして、以下の取り組みが選定された。

⇒「医療機関の充実や緊急医療体制の強化」

⇒「風水害への対策(津波や河川氾濫など)」

⇒「身近な生活環境の整備や管理(町道等)」

⇒「松島町の玄関口としての「松島駅・松島海岸駅」の整備」

⇒「住みよい住居環境とするための有効な土地利用(空き地の活用など)」

#### 6) 町の取り組み(52項目)で特に重要と思う取り組み(5つまで選択)

- ・町の取り組み(52項目)のうち、特に重要と思う取り組みとしては、以下の意見が多い結果となった。

⇒「医療機関の充実や緊急医療体制の強化」

⇒「風水害への対策(津波や河川氾濫など)」

⇒「松島町の玄関口としての「松島駅・松島海岸駅」の整備」

⇒「安心して子育てできる環境整備(保育サービスの充実など)」

⇒「住民と行政が一体となってまちづくりを考える活動」

#### 7) 自由意見について

分野別では、「行財政」「道路」「保健・医療」「商工業」「公共交通」についての意見が多い状況となっている。